

課題：日露戦争で日本が勝利したことは、清や朝鮮半島にどんな影響を与えたのか？

教：P.178～179

7. 義和団事件(1899 年)

…列強が中国分割を進める中、外国勢力を排除しようと人々が蜂起した

義和団は「^{ふしんめつよう}扶清滅洋」を掲げ、北京の各国公使館を包囲したが、鎮圧された

(1) ロシアは事件後、遼東半島を根拠地として満州を事実上占領し、韓国への進出を強めた

(2) 日英同盟(1902 年)

＜日本とイギリスそれぞれのねらい＞

【日】 朝鮮半島での優位を確保したい

【英】 清での利権確保に日本を利用したい

8. 日露戦争(1904～05 年)

…奉天開戦や日本海海戦での日本の勝利

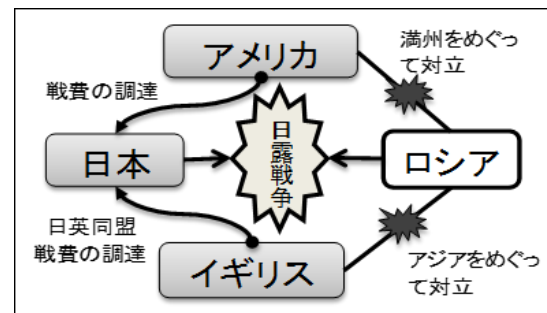
→日露両国とも、戦争継続が困難になっていた

日本：国民の負担の大きさ

ロシア：政治に対する不満から革命運動が起きる

⇒アメリカの仲介で講和へ

＜資料 1＞日露戦争時の国際関係



9. ポーツマス条約(1905 年)

…アメリカ大統領セオドア＝ローズベルトの仲介により、アメリカのポーツマスで日露戦争の講和会議が開かれた。日本の全権は小村寿太郎、ロシアはウィッテ。

＜内容＞

ロシアは、

①韓国における日本の優越権を認める。

②旅順や大連の租借権、長春以南の鉄道利権を日本に譲る。

③北緯 50 度以南の樺太を日本にゆずる。

④沿海州・カムチャツカ半島周辺での日本の漁業権を認める。

しかし、ロシアから賠償金を得ることができなかった

→激しく政府を攻撃し、東京では暴動になった(→日比谷焼き討ち事件)

10. 日露戦争後の日本

(1) 欧米列強の仲間入り⇒アジア諸国に対する優越感が強まる

(2) 他のアジア地域に民族運動を刺激⇒「われわれも日本のように…」

まとめ：